



平成 19 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社 加ト吉  
代表者名 取締役社長 金森哲治  
(コード番号: 2873 東証第一部・大証第一部)  
問合せ先  
責任者役職名 常務執行役員  
氏 名 相田 宜彦  
T E L (03) 5547 - 2400

### 子会社の異動ならびに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで）中間決算に際し、監査法人及び公認会計士と協議した結果、子会社の異動を行うことに致しましたのでお知らせします。

また、平成 19 年 6 月 26 日に公表致しました平成 20 年 3 月期の業績予想を、子会社の異動と最近の業績の動向等を踏まえ、下記の通り修正致しましたので、併せてお知らせ致します。

#### 記

#### 1. 子会社の異動について

##### (1) 異動の理由

当社は、平成 19 年 10 月 19 日付で、太陽 A S G 監査法人を金融商品取引法 193 条の 2 第 1 項の規定に基づく監査法人に選任し、公認会計士との共同監査体制に致しました。その後、同監査法人及び公認会計士と連結子会社に関し協議した結果、以下の会社に関しては財務諸表等規則に規定する支配力基準に基づき持分法適用会社にするにと致しました。

##### (2) 連結子会社から持分法適用会社に異動する会社（4 社）

名称	資本金 (百万円)	議決権の所有 割合(%)	関係内容
(株)キング食品	56	50.0	当社の製品製造 役員兼任 2 名
新日本グローバル(株)	58	43.0	当社の製品・商品を仕入 当社に商品を納入 役員兼任 1 名
(株)ハブ	628	42.8	建物の一部を賃貸借 役員兼任 2 名
(株)大冷	1,200	42.0	当社の製品・商品を仕入 役員兼任無し

(3) 異動年月日

平成 19 年 9 月 30 日

(4) 連結業績への影響について

下記業績予想の修正をご参照願います。

2. 平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで）業績予想の修正

(1) 中間期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	146,000	5,600	5,700	2,500	15.43
今回修正予想(B)	104,400	1,900	1,600	100	0.62
増減額(B-A)	△41,600	△3,700	△4,100	△2,400	—
増減率(%)	△28.5%	△66.1%	△71.9%	△96.0%	—
前期実績	156,167	6,063	7,039	2,516	15.53

(2) 通期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純 利益又は 1 株当 り当期純損失
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	303,000	13,300	13,600	6,700	41.35
今回修正予想(B)	215,400	5,400	5,500	1,600	9.87
増減額(B-A)	△87,600	△7,900	△8,100	△5,100	—
増減率(%)	△28.9%	△59.4%	△59.6%	△76.1%	—
前期実績	348,675	10,150	10,939	△9,874	△60.94

(3) 中間期個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	86,000	3,000	3,300	1,600	9.87
今回修正予想(B)	78,900	1,100	1,300	500	3.09
増減額(B-A)	△7,100	△1,900	△2,000	△1,100	—
増減率(%)	△8.3%	△63.3%	△60.6%	△68.8%	—
前期実績	106,271	3,532	4,566	1,449	8.95

(4) 通期個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	180,000	7,800	8,400	4,600	28.39
今回修正予想(B)	161,000	3,100	3,700	1,300	8.02
増減額(B-A)	△19,000	△4,700	△4,700	△3,300	—
増減率(%)	△10.6%	△60.3%	△56.0%	△71.7%	—
前期実績	220,047	5,856	7,584	△17,910	△110.53

(5) 業績予想の修正理由

当社は現在、平成20年3月期中間決算の取り纏めと年度通期業績の見直し作業を鋭意行っておりますが、その過程で上記の通り子会社の異動が生じたこと、並びに業績の下振れの可能性が強まったことから、業績予想を修正させていただきます。

当社は、年度当初から循環取引問題等を踏まえ経営改善に努めてまいりました。既に開示しております改善報告書に示している、帳合取引への厳格対応や内部管理体制強化を、着々と推進しております。一方で、上期中に発生したミートホープ社関連の問題や中国商品に対する安全性懸念の問題、猛暑等の特殊要因の影響も生じております。足元、営業環境は回復基調にありますが、これらの影響を総合的に勘案し、当社グループ業績の見直しを行いました。以下、その内容と主な要因を説明いたします。

中間期の連結業績につきましては、売上高は前回発表予想比416億円減の1,044億円になる見込みです。この減収の主な要因は、連結子会社4社の持分法適用会社への異動によるものが336億円、加ト吉単体の売上減が71億円であります。また、営業利益の前回発表予想比37億円の減益は、加ト吉単体の減益が19億円、子会社異動の影響が8億円、その他は北海道加ト吉等の子会社の業績下振れを要因として見込んだものです。また、当期純利益につきましては、ミートホープ関連での特別損失を加ト吉グループ全体で5億円程度計上する見込みであり、それらの影響もあり1億円に留まる見込みであります。

通期の連結業績予想につきましては、子会社異動の影響として、売上高679億円減、営業利益16億円減、経常利益14億円減を見込んでおります。それ以外では、上期に比べ下期には回復が見込まれるものの、加ト吉単体で売上高190億円減、営業利益、経常利益共に47億円減が見込まれ、結果として、売上高は2,154億円、営業利益54億円、経常利益55億円、当期純利益16億円となる見込みです。

加ト吉単体の中間期の業績に関しましては、売上高は前回発表予想比71億円減の789億円となる見込みです。この要因としては、水産事業を中心とした帳合取引の厳格対応による減収が44億円、ミートホープ関連の冷凍食品の減収が15億円、中国商品関連の売上減

が 11 億円ほど挙げられます。営業利益は、品質管理強化に伴う水産事業での在庫処分関連で 6 億円、ミートホープ関連の売上減に伴うものが 5 億円、その他原材料高騰などの影響も含め、前回発表予想比 19 億円減益の 11 億円となる見込みです。

中間期業績予想を踏まえ、加ト吉単体の通期業績の見直しを行った結果、売上高は前回発表予想比 190 億円減の 1,610 億円となる見込みです。この減収には、水産事業関連を中心とする帳合取引関連で 104 億円、ミートホープ関連で 30 億円、中国商品関連で 31 億円の減収を見込んでおります。営業利益、経常利益の前回発表予想比 47 億円の減益は、ミートホープ関連の減益 10 億円、水産事業での在庫処分 6 億円ほどを織り込んでおります。

**【業績予想に関する留意事項】**

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これら見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますよう、お願い致します。

以上